

科目名	人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能及び疾病)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	池尻 義隆		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○
<p>[到達目標]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人体の構造と機能及び疾病の概要を述べることができる。 2 身体機能とところの関連(心身相関)を説明することができる。 3 がんや難病をもつ人の心理やその支援について、主体的に考えることができる。 <p>[授業概要]</p> <p>本授業では、人体の構造と機能や心身相関について学習した後、日常で経験し得る状況を想定し、予習に基づく反転授業や教育動画を一部用いて、疾病や一次予防について学ぶ。また、がんや難病をもつ人やその他の疾病をもつ人に対してどのような心理的支援が可能かを、グループワークを通じて主体的に考える機会をもつ。適時、担当教員が医師として経験した症例を提示して理解を深める。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>1回目授業で説明予定。各回、予習して疑問点を明らかにしておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 シラバスの説明、プレテスト、人体の各器官の構造と機能 2 生命維持と自律神経系、概日リズム 3 検診(出生前、出生後、学校、職場、がんなど)、健診、疾病 4 感染症、免疫、ワクチン(HPVワクチンなど) 5 妊娠、出産、発達 6 生活習慣(食事、運動など)と生活習慣病 7 心理的ストレスと依存症 8 心理的ストレスと心身症、健康経営 9 がんや難病と治療 10 がんや難病と支援 11 加齢と加齢性疾病、健康長寿 12 医療保険制度、介護保険制度 13 まとめ(テストと解説を含む) 			

科目名	人体の構造と機能・疾患(人体の構造と機能及び疾病)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	池尻 義隆		
<p>[成績評価方法] 毎回の授業前の予習結果(22%)、毎回の授業後の小テスト(33%)、学期中のレポート(10%)、学期末テスト(35%)。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法] 授業内での課題は、授業あるいは次回授業でフィードバックする。 期末試験については、答案回収後に解答の解説をおこなう。 レポートについては、学期内に個別コメントとともにフィードバックする。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス] 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>学科DP番号/DP内容:心理1-1/心理学の方法論を理解し、基本的知識と技能を修得している。 成績評価方法:毎回の授業前の予習結果(22%)、毎回の授業後の小テスト(33%)、学期中のレポート(10%)、学期末テスト(35%)。</p> <p>学科DP番号/DP内容:心理3-1/心理学とそれに関連する諸分野の知識・技能を、主体的に修得しようとする意欲と姿勢を身につけている。 成績評価方法:毎回の授業前の予習結果(22%)、毎回の授業後の小テスト(33%)、学期中のレポート(10%)、学期末テスト(35%)。</p> <p>[この授業と関連する大学全体の教育目標]</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:多様性理解/自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢 成績評価方法:毎回の授業前の予習結果(22%)、毎回の授業後の小テスト(33%)、学期中のレポート(10%)、学期末テスト(35%)。</p> <p>教育目標が示す資質・能力等/資質・能力等の内容:論理的思考力/筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力 成績評価方法:毎回の授業前の予習結果(22%)、毎回の授業後の小テスト(33%)、学期中のレポート(10%)、学期末テスト(35%)。</p> <p>[教科書(ISBN)] レジメ・資料を作成し、manabaにアップロードする。</p> <p>[参考書(ISBN)] なし</p>			